

令和5年度第2回岩手県地域公共交通活性化協議会県北地域別部会 議事要旨

1 日時

令和5年9月22日（金） 13：30～14：35

2 場所

久慈市（久慈地区合同庁舎 6階 第4会議室A）

3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の令和4年度施策評価について
- (2) 次期地域公共交通計画の骨子案について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

4 主なご意見等

- (2) 次期地域公共交通計画の骨子案について
 - ・ 先月末に当市でも地域公共交通会議を開催し、その中で交通事業者から通学利用の生徒の動向が変わってきた旨の話があった。市では昨年度から、市内の高校に通学する一定要件を満たす生徒に対し、公共交通利用に係る通学費支援を実施している。その結果、市内へ通学する生徒が増加しているため、効果があったのではないかと考えている。
 - ・ 一方で、通常路線バスの利用者を増加させるためには、学生利用の増加だけでは乗車密度に響きにくいと思われるため、計画策定に当たっては、様々な分析を実施し、改善の取組に繋げていけるかどうか大きな課題であると認識している。
 - ⇒ 次期計画の骨子案では、例えば教育分野との連携など、他分野間連携を前面に出して記載している。そうした連携や利用促進の事例などを計画に盛り込んでいきたいと考えている。現在アンケート等を行っているが、今後の素案等で記載に不足があれば教えていただきたい。（事務局）
 - ・ 久慈大野線（大野線）は2022年度の輸送量が12.4人となっており、補助要件の15.0人を下回っている状況である。以前から利用促進事業でツアーの実施や実証運行による増便を行っており、事業者、関係市町村で検討を続けているものの、利用者数の増加に繋がる新たな案が出てこない場

合があるため、県内の各路線における利用促進の取組事例等の情報を共有していただきたい。

⇒ 県北広域振興局でも久慈大野線の会議に参画しており、一緒に検討をしているが、なかなか利用者数がコロナ禍前の水準まで戻っていない状況である。路線バスの利用者数増加は共通課題なので、全県的な事例を共有していただきたい。

⇒ 毎年度、久慈大野線を含む国庫補助路線については、路線毎に生産性向上の取組として、バス事業者や沿線市町村等が実施した利用促進等の取組を取りまとめ、共有させていっているところ。その中で詳細を確認したい取組や、それ以外にも必要な情報があれば、随時共有させていただく。(事務局)